

【対象者の状況】

図1 年齢別相談割合

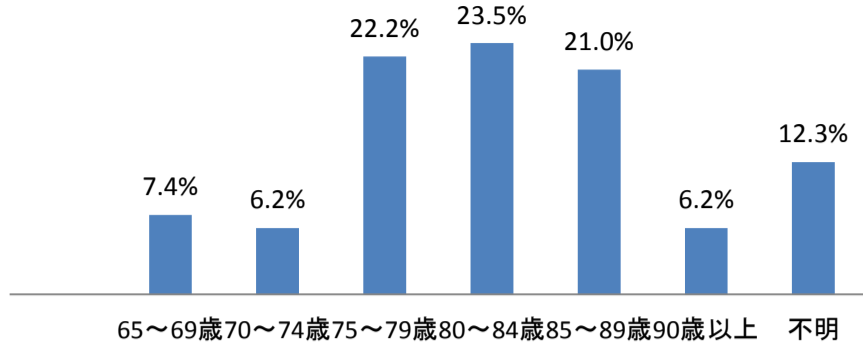


図2 性別別相談割合

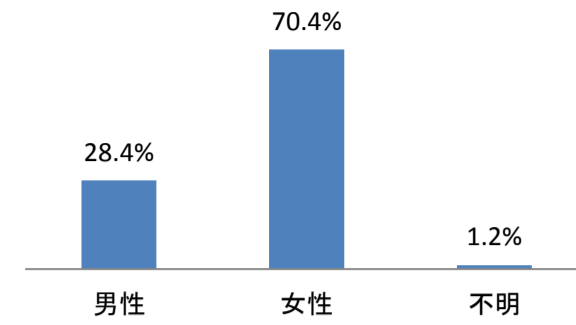


図3 世帯状況別相談割合

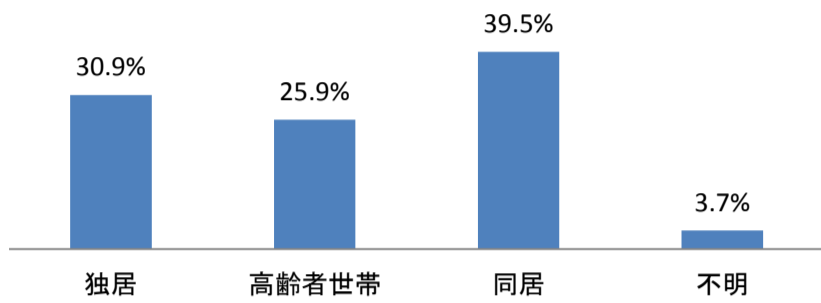
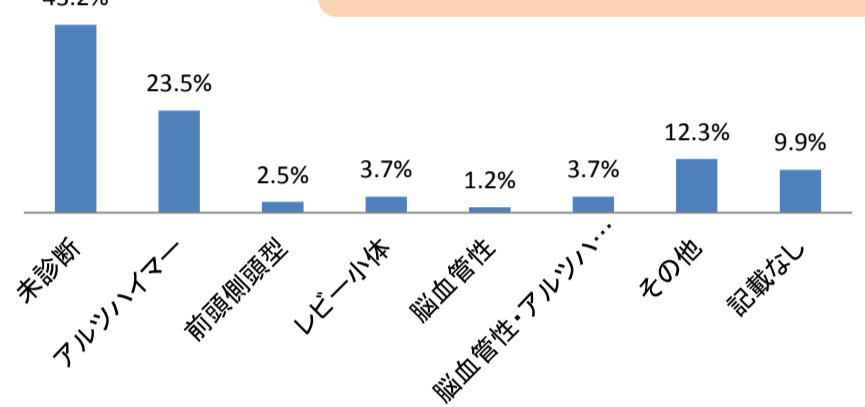


図4 疾患別相談割合

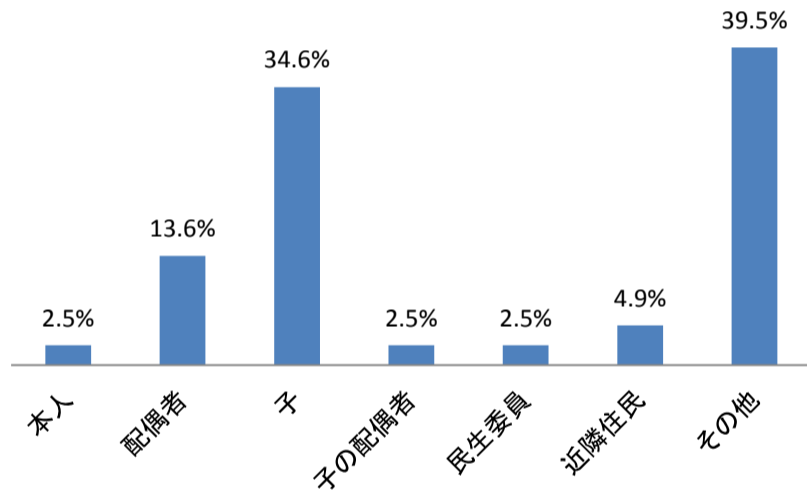


相談が入った時点で43.2%が未診断記載なしを含めると約半数が診断不明となる。

【図5 把握経路】

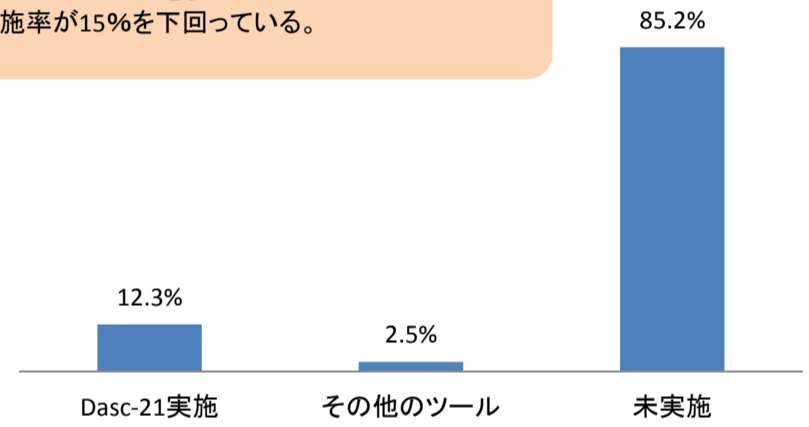
独居高齢者の把握経路は、その他(医療機関・孫・兄弟姉妹)が多い。

把握経路のうち、民生委員からの相談が2.5%に留まっている。



【図6 アセスメントツール使用状況】

アセスメントツールを使用しているのアセスメント実施率が15%を下回っている。



【支援状況】

図7 未診断の方における課題

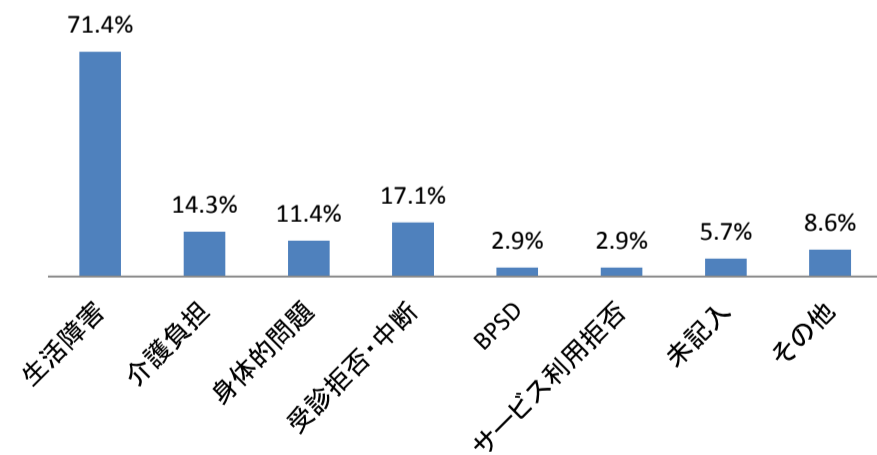
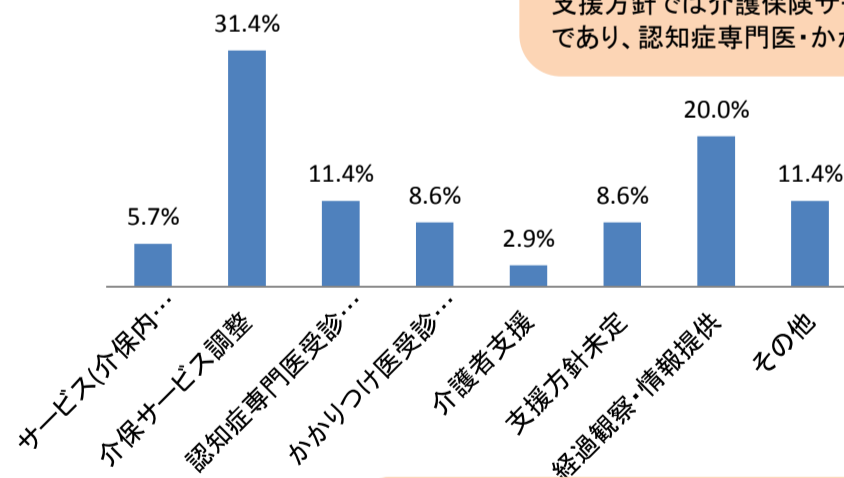


図8 未診断の方への支援方針



未診断者の支援課題では、認知症状による生活障害が半数以上。次いで受診拒否・中断が多い。

支援方針では介護保険サービスの調整が最多であり、認知症専門医・かかりつけ医への受診

図9 診断ありの方における課題

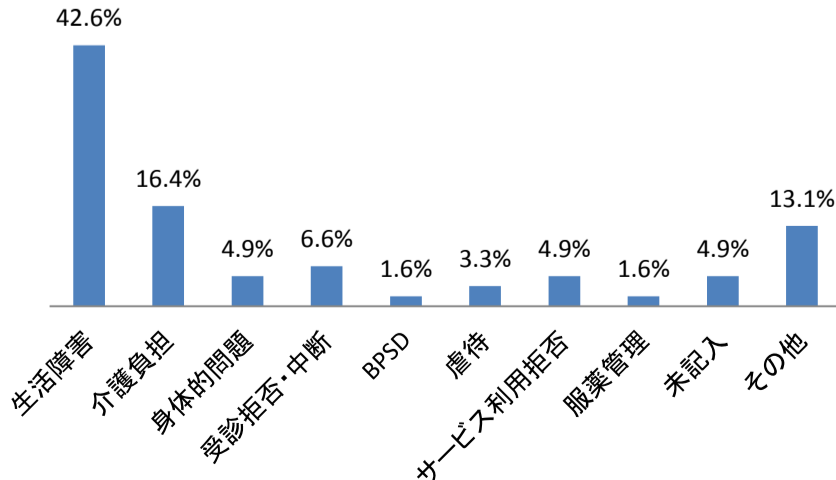
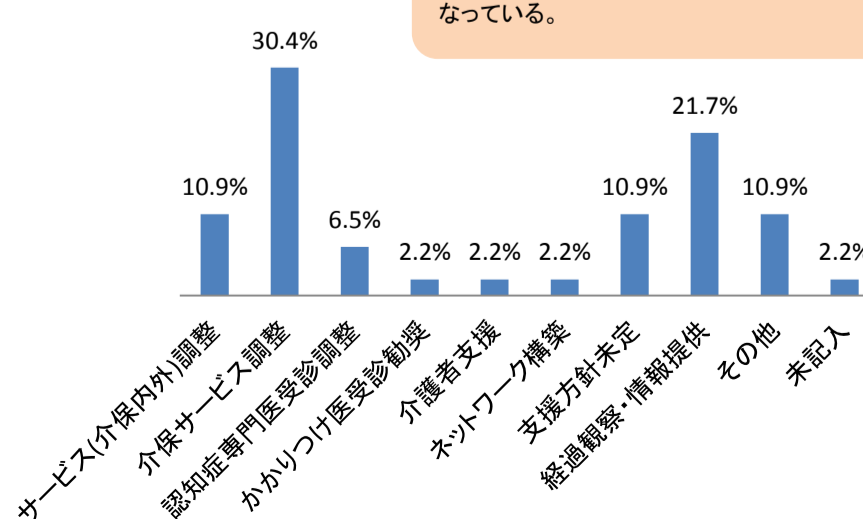


図10 診断ありの方への支援方針



診断ありの方への支援課題では、未診断同様、認知症状による生活障害が最多。未診断と異なる点は介護負担や虐待が多くなっている。